

県知事は 県民の会の 46歳 新人を

//// 元参議院議員 ////

8/9

長野県知事
選挙

あなたの声を聞かせてください

県民の会のがみなさんにお願した「県民アンケート」は1,300通を超える回答が寄せられました。

ご協力ありがとうございました。

みなさんの声をもっともっと聞かせてください。しっかり県政に届けます。

物価高が本当に怖い。それなのに簡単に宿泊税や森林税など用途不明の税金を県から取られることが疑問です。商品券配布などのその場しのぎだけではなく、
県独自で応援対策をとって欲しい。

特別支援学校は、教室不足で校庭までプレハブ校舎設置、老朽化した校舎、駐車場不足、施設設備予算不足などなど、同じ県立でも高校との格差がたいへん大きい。

中学校の給食費無償化してほしいが、「それは国のやること」と逃げている。小さな町村でも頑張っているのに。
県がやれば一気にできる。

農業や環境など長野県の本来の大切な部分をもっと見るべきですし、医療や教育など本当にライフラインと言われる部分に焦点をあてて県政をすすめてほしい。

私のような中山間地に住む高齢者は免許を返納したら生きていけない。置き去りにされているようにしか見えない。
地域に合った公共交通を望む。

県政をもっと身近に

アンケートで寄せられ声の一部を紹介します。

人権を重視して行政が行われているか疑問です。どう見ても貧困家庭、障害者に冷たい。

「強く豊か」ではなく「子どもから高齢者まで、優しく平和に暮らせる」県にしてください。

長野県には満蒙開拓団の辛い経験がある。戦争は絶対にダメ。憲法9条を守れと全国に発信してほしい。

一番は、物価高に給料が追いついていないこと。よその県では、給料を上げた中小零細企業を直接応援していると聞く。そういうことをやってほしい。

耕作放棄地が増えていく景色を見ていて悲しい。若者が希望を持って農業に取り組める支援が必要です。後継者問題、新規就農者の確保を本気でやってもらいたい。

県民アンケート実施中



県民の会の

46歳

新人

元参議院議員

あなたと
つくる
新しい県政

平和、安心、希望の長野県

1

県民に冷たい県政から、
**県民に寄り添い、
命とくらし地域経済
を守る県政へ**

他県では賃金を上げた中小企業への直接支援を行っていますが、長野県はゼロ。医療介護事業所への支援も1ベッド当たり2万円(1月補正)で全国5万円の半以下です。この県政を転換し、「命とくらし最優先」を貫きます。

2

国いいなりの
マンネリ県政から、
**県民の声が
届く県政へ**

県民の会のアンケートでも、森林税や宿泊税には、「使われ方がわからない」との声が多数です。県民に負担を押し付ける一方で、要望の強い物価高対策、子育て支援、農業振興は、国の施策の範囲で独自の対策は極めて弱いのが現県政です。ここを転換し、県民のみなさんの声をお聞きすることを何よりも大切に、県民参加の県政運営をすすめます。

3

平和の願いに
背を向ける県政から、
**「戦争反対、
平和を守れ」を
発信する県政へ**

県は国いいなりに、ミサイル飛来を前提にした避難訓練などをすすめています。しかし大事なことは、戦争にさせない外交とそれをすすめる平和の世論と運動の構築ではないでしょうか。

県民の会 新人は提案します

- ▶ 水道料の基本料金ゼロ(2027年3月まで)
- ▶ ひっ迫する石油由来の事業への直接支援
- ▶ 時給1700円以上のための中小企業への直接支援
- ▶ 非正規から正規雇用への転換
- ▶ 子ども医療費の完全無料化、給食費は中学まで無料に
- ▶ 全教室へのクーラー設置、トイレの様式化
- ▶ 国保料・介護保険料の引き下げ
- ▶ 地域に合わせた公共交通の公共交通の充実支援
- ▶ 家族農業、中山間地農業の支援価格保障と所得補償で農業経営を応援
- ▶ 市町村と連携し災害時の避難・救援・支援体制の構築

- ▶ 気候危機打開へ、脱原発、再エネ・省エネ
- ▶ リニア新幹線はいったん中止
- ▶ 県と市町村の女性幹部の登用促進。
- ▶ 排外主義に反対し、多文化共生社会をめざす



財源はあります。

長野県の税収は増えています。昨年度は前年度比で107.7%、195億円増えました。

新たな財源としては、何より国庫支出金、地方交付税の大幅増を、国に強く求めていきます。さらなる県税収入を増やすには、最低賃金を1700円以上にすることが必要で、そのための中小企業の直接支援を行います。

また資本金1億円以上の大企業に応分の負担を求めることも必要です。

投資的経費の見直しなど、緊急性のない施策を先送りすることで財源を確保します。



あなたの1票で、政治は必ず変わります